

はちのへ 市議会だより

平成21年12月定例会

No. 68

2010年（平成22年）1月20日発行

編集・発行 八戸市議会 八戸市内丸一丁目1番1号 ☎ 43-2111 内線404

はちのへ市議会だよりは、市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp>



平成21年12月定例会は、12月1日から12月15日まで、15日間の会期で開かれ、平成21年度一般会計補正予算など市長提出議案20件、議員提出議案3件を可決して閉会しました。



はちのへ「ちきゅう」情報館 2周年記念講演会

12月13日、八戸市水産科学館マリエントで、はちのへ「ちきゅう」情報館2周年記念講演会が開催されました。

平成21年度12月補正予算

一般会計補正予算額 40億3,828万9千円 補正後の予算総額 916億3,068万4千円

主なもの

- 障害者自立支援給付費……………340,000千円
- 自立支援特別対策事業費……………29,956千円
- ドクターカー導入経費……………6,800千円
- 妊婦健康診査委託料……………69,000千円
- 水産物流通機能高度化対策事業費……………2,778,190千円

市政に対する 一般質問

財政、福祉行政、観光行政、環境行政、教育行政など、177項目の質問の中から質問議員1人につき1項目を取り上げ、要旨を掲載しました。

要請を受けたところである。

市としては、定住自立圏形成および三圏域連携の趣旨を踏まえ、運行欠損に対する負担割合などについて、両町ならびにバス事業者と協議していくことにしている。

また、今後は、県独自の財政支援について要望していきたい。

小・中学生の医療費の一部無料化を

日本共産党議員団
松田 勝

【問い】 市長がマニフェストの中で掲げている小・中学生の医療費の一部無料化について、その範囲と今後の取り組みを伺いたい。

【答え】 市では、現在、子どもの医療費に対して、三歳までは入院・通院ともに全額を助成し、四歳から小学校就学までは自己負担としている入院一日当たり五百円、通院一カ月当たり千五百円を超える分について助成を行っている。

子どもの医療費に対する助成制度の拡充は、子育て環境を構築する上で重要な施策であることから、現在、拡充内容を検討中であり、他都市の事例を参考にしながら、来年度中の実施に向けて取り組ん

でいきたい。

業務継続計画策定の見通しは

無所属
伊藤 圓子

【問い】 非常時における業務継続計画（BCP）を個別事象ごとに策定することが対応力の強化につながるが、当市における策定見通しは。

【答え】 同計画は、事象により業務継続に支障を及ぼす度合いが異なるため、個別に策定すべきと考えており、非常時に優先実施すべき業務を明確にし、継続するための対応策の検討が必要となる。

また、対象となる事象の特定には、これまでの発生状況や緊急性から、新型インフルエンザや地震災害に係る計画を優先することとし、来年度中に個別の事象に係る計画の策定を進めていきたい。

専門士業の指導を受けなければならないと考える事業は

無所属
坂本 眞将

【問い】 昨年度および本年度において、具体的に専門士業の指導

を受けるべきであったと考える事業はないか。

【答え】 総務課法規グループで相談を受けたものの範囲内で、昨年度においては、新処分施設（一般廃棄物最終処分場）用地の取得に係る事業について、もう少し周到な準備をしておいたほうが良かったのではないかと考えている。

また、本年度においては、現在のところそのような事業はないと聞いている。

本八戸駅通り地区整備事業の取り組み状況は

民主クラブ
田中 満

【問い】 中心市街地の玄関口にあたる本八戸駅通り地区の整備事業について、最近の取り組み状況と、今後、どのように進めていくのか伺いたい。

【答え】 同地区には、長期にわたり未着手の都市計画道路3・5・1号沼館三日町線があり、整備促進について、毎年県に要望しているほか、地元の方々とワークショップを開催しながら、まちづくりについての検討を行っている。今後は、中心市街地の玄関口に

ふさわしい整備を促進するため、県・市・地元の三者が協調していく必要がある。市では、ワークショップなどにより意見交換を図りながら、地区全体での街なみ環境整備も含めた事業計画をとりまとめていく。

介護予防の現状と

地域支援事業の取り組みは

社民党・市民連合
山名 文世

【問い】 介護予防事業の現状と、地域支援事業の取り組み状況や効果について伺いたい。

【答え】 市では、要介護状態への移行防止や健康・生きがいづくり、社会参加の促進などを目的として、運動機能向上や認知症予防など、さまざまなテーマで介護予防事業を実施している。

また、地域支援事業の一つとして、認知症について正しい知識を持ち、さりげないサポートをしてくれる認知症サポーターの養成に積極的に取り組み、これまでに二千七百六十三人のサポーターが誕生している。

今後は、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、

生活交通バス路線への対応は

自由民主クラブ
藤川 優里

【問い】 国庫補助基準を満たさず国・県からの補助金が交付されない見込みとなった、当市と五戸町および当市と軽米町を結ぶ生活交通バス路線への対応は。

【答え】 運行上欠損を生じた生活交通バス路線については、国・県ならびに沿線市町村が協調して補助し、路線維持を図っているが、本年度、国・県からの補助金が交付されない見込みとなり、両町長から協調して財政支援をするよう

積極的に取り組んでいきたい。

林業の振興策は

日本共産党議員団

畑中 哲雄

【問い】 輸入木材の増加などにより、国内の林業が苦境と言われている中、活性化を図るべきであると考えますが、当市における振興策について所見を伺いたい。

【答え】 市では、平成十年度から森林組合の実施する間伐事業に対し、事業費の5%を補助しているほか、平成十四年度からは、森林所有者などが実施する森林整備のための作業道補修や草刈りなどに対して補助金を交付している。

今後も、地域の林業活性化のみならず、地球温暖化防止や生物多様性保全など、森林の多面的機能の発揮に向けた諸施策の推進に努めていく。

マニフェストに掲げた各種施策の位置付けは

自由民主クラブ

森園 秀一

【問い】 第五次八戸市総合計画の目標年度と、マニフェストに掲

げた各種施策の今後の位置付けについて伺いたい。

【答え】 マニフェストの実現には、市民や議会の意見を聞き、迅速かつ果敢に挑戦するとともに、第五次八戸市総合計画との整合性を図ることが重要と認識している。

現在、同計画の前期五カ年の推進計画を実施しているが、社会経済情勢の変化など、計画策定時には想定していなかった状況が生じているため、後期推進計画の策定作業を一年前倒しして来年度から着手したいと考えている。

また、マニフェストに掲げた各種施策は、後期推進計画に位置付け、推進を図っていきたい。

文化振興についての取り組みは

自由民主クラブ

島脇 一男

【問い】 市制施行八十周年記念事業として開催された八戸小唄フェスティバルの継続について、所見を伺いたい。

また、市内の文化団体を把握し、登録システムを構築する考えは。

【答え】 本年十一月に開催された八戸小唄フェスティバルは、市

公会堂大ホールが満員となり大盛況であった。

このフェスティバルの継続については、開催に要する経費や人的体制など、関係団体との協議が必須と考えている。

また、市内文化団体の登録システム構築については、登録したデータを活用することにより、その団体の発表機会の拡大や地域イベントでの相互協力などが期待されることから、研究していきたい。



八戸小唄フェスティバル

東北新幹線「はやて」の名称存続を

民主クラブ

石橋 充志

【問い】 東北新幹線新青森駅開

業に伴い、市民になじみ深い「はやて」の名称が廃止されるとの話もあるが、存続に向けた考えは。

【答え】 「はやて」の名称を廃止する方向で検討しているとの報道をJR東日本に確認したところ、何も決定をしていないとのことであり、同本社を訪問した際、「はやて」への愛着と、名称存続を願う声が地元にあることを、社長へ伝えた。

市としては、今後の動向を見守りつつ、機会をとらえて地元の声をJR東日本へ伝えたいと考えている。

商店街の活性化を

民主クラブ

寺地 則行

【問い】 中心市街地以外の商店街の活性化に向けた取り組みについて伺いたい。

【答え】 市ではこれまで、商店街の結束・強化を図るための事業に助成する商店街調査活動事業などを実施してきたところである。

また、昨年度からは、商店街が将来ビジョンを策定する取り組みに対して助成する事業を実施し、本年度からは、そのビジョンに基

づく事業に対して支援を行う商店街再整備支援事業を実施している。

今後も、商店街のニーズに即した効果的な支援策を検討するとともに、自ら活性化に取り組む、意欲ある商店街の活動を支援していきたい。

市道西母袋子線の整備の進捗よく状況と今後の見通しは

自由民主クラブ

吉田 淳一

【問い】 市道西母袋子線整備事業の進捗よく状況と、完成時期を含めた今後の見通しについて伺いたい。

【答え】 同事業は、旧南郷村との合併に係る新市建設計画に位置付けられた重要な事業で、住民の相互交流の活性化を図るための骨格となる市道整備事業である。

進捗よく状況は、総事業費約二十四億円のうち、本年度末までの投資額は約十四億円、進捗よく率は約五十八%となる予定である。また、今後の見通しについては、合併特例法による財政措置期間内である平成二十六年までの、できるだけ早い時期に事業を完了させたいと考えている。

地元業者の優先活用を

公明党
前澤 時廣

【問い】 大規模事業の鉄骨工事や機械設備工事における地元業者の活用状況および優先活用の方策について伺いたい。

【答え】 建築工事における鉄骨工事については、特殊なものを除き地元業者が下請となっており、機械設備工事については、地元以外の業者が下請となっている場合も見受けられる。

下請業者の選定に市が制約を加えることは難しいと考えているが、工事発注の際は、技術的に困難な場合などを除き地元業者への発注を基本としていることから、下請についても地元業者を活用するよう、受注業者に要請してきている。今後も、一層、地元業者の活用が図られるよう、機会をとらえて要請をしていきたい。

子育て応援特別手当の

執行停止への対応は

公明党
夏坂 修

【問い】 国が執行停止した子育て

て応援特別手当について、その影響と対応を伺いたい。

【答え】 同手当の執行停止に伴う影響については、申請の受付開始に向けて事務を進めていたが、物品購入などの予算執行を行っていなかったことなどから、職員の時間外勤務手当九万七千円のみ執行となっており、この事務経費については、今後、国に交付請求を行う予定としている。

執行停止への対応としては、市ホームページおよび広報はちのへにおいて、支給対象者にお知らせしたところであり、問い合わせがあった場合には、真摯に対応していきたい。

子ども交流館の概要は

社民党・市民連合
松橋 知

【問い】 八戸公園こどもの国に子ども交流館の整備事業が進められているが、施設概要と運営について伺いたい。

【答え】 子ども交流館は、木造平屋建てで、大型ネット遊具などがある遊び空間や体験学習コーナーを設置し、天候に左右されず一年を通じて遊べる施設として整備

するもので、平成二十三年度のオープンを予定している。

管理運営については、親子のふれあい交流の場としての機能を十分に発揮できるよう、関係者や専門家の意見を聞き検討していく。

意見書

議員提出議案として、次の意見書を可決し、関係省庁へ提出しました。

- ▽高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に関する制度の充実を求める意見書
- ▽乳幼児期のヒブワクチン接種に関する制度の充実を求める意見書
- ▽核兵器廃絶に向けた取り組み強化を求める意見書

請願・陳情の審査結果

採択したもの

▽りんごの価格安定対策を求める陳情

不採択となったもの

▽法務局職員の増員に関する陳情

継続して審査するもの

▽所得税法第56条廃止を求める意見書に関する請願

十二月定例会では、五十九人の傍聴者がありました。

なお、十二月定例会の会議録は、二月に発行する予定です。

お知らせ

十月十六日付けで現職議員が辞職したため、欠員が生じた八戸市階上町田代小学校中学校組合議会議員に石橋充志議員を選出しました。

また、十月二十五日の市議会議員補欠選挙で、次の方が当選されました。

議席順に、氏名（敬称略）、年齢（十月二十六日現在）、期数、所属党派名、住所、所属委員会名を掲載しました。

工藤 悠平 30歳 1期

自由民主クラブ

一番町一丁目

経済常任委員会

観光開発特別委員会



田中 満 41歳 1期

民主クラブ

城下二丁目

建設常任委員会

観光開発特別委員会



下田 保夫 70歳 2期

民主クラブ

鮫町字小長根

民生常任委員会

港湾振興対策特別委員会



吉田 淳一 63歳 5期

自由民主クラブ

大久保字大山

建設常任委員会

観光開発特別委員会



八戸市議会の会派構成は、次のとおりです。

- ▽自由民主クラブ・・・15人
- ▽民主クラブ・・・11人
- ▽社民党・市民連合・・・3人
- ▽公明党・・・2人
- ▽日本共産党議員団・・・2人
- ▽無所属・・・3人

※政風クラブは、十一月十五日付けで、会派名を民主クラブに変更しました。（この号の表記は全て変更後の名称で記載しています。）